



京都大学 オープンキャンパス2013

「平成 25 年度 京都大学オープンキャンパス研修 報告」

日 程：平成 25 年 8 月 8 日(木)

参加者：生徒 15 名(男子 13 名・女子 2 名)

引率者：藤本先生、長松(PTA)、吉岡(PTA)

行 程： 5 時 50 分 広島駅新幹線口 2F コンコース集合

- ・基町高等学校(38 名)、広島国際学院高等学校(1 名)の参加生徒と共に出発式を行った

(JR で広島駅に来る生徒が新幹線口へ直接向い、迷う生徒がいた。JR 出口付近で声掛けをした)

- ・京都駅に到着し全員の点呼を終えすぐにタクシーで京都大学へ移動した

- ・到着後、集合写真を撮り集合時間と場所の確認を各校で行い、9 時からのオープニングセレモニーに参加した

(生徒しか入れない、整理券が配られていたが早い段階で配布終了していた)

- ・その後申込みした説明会へ各自参加

16 時 30 分～18 時 舟入 OB との座談会

- ・舟入 OB4 名と合流し構内の食堂へ移動した

- ・OB と別れ最寄りの地下鉄駅までタクシーで移動し地下鉄で京都駅へ向かう。タクシーは事前に予約しておいた

20 時 55 分 広島駅到着 解散

《舟入 OB との意見交換》

2 テーブルに分かれ座談会がスタートしました。生徒は前もって考えていた質問を先輩方に聞き、メモを取るなど、真剣なまなざしでした。途中緊急地震速報のメールが一斉に鳴り響き慌てましたが、大事には至りませんでした。これをきっかけに場の空気が和み、緊張していた生徒たちも笑顔になり話が弾むようになりました。



《OBからのアドバイス》

- ・部活と勉強の両立をするためには、試験等で間違ったところは必ず試験後完璧に覚える事。一つずつ丁寧に、間違ったところをおろそかにしない。
- ・出来ないからといって焦る事はない。問題を解き続ける事で必ず身につく。
- ・英語が苦手な人は単語を覚えていないから。数多くの単語を覚える事で理解しやすくなる。
- ・長時間ひたすら勉強していた訳ではない。だらだら勉強し続けるより、集中して勉強する方が能率も上がる。生活リズムを整え、オンオフの切り替えを上手くする事。
- ・大学合格がゴールではない。大学で何を学びたいのかを明確にしないと大学生生活は充実させる事は出来ない。
- ・大学では色々な学生が集まるので刺激を受け高校生の時よりも視野も広がり興味を持つことも増える。
- ・学部を決める時、親が進める学部を選ぶのではなく、自分のやりたいと思う事を探し見つけて決めるべき。興味のない事は意欲もわかないから。

《感想》

本校は京都大学オープンキャンパス研修への参加は今年で2回目となります。トラブルもなく限られた時間の中で充実した1日を過ごす事が出来ました。

共に参加した2校と同じく、新幹線の中で各自勉強を行っていました。少しの時間も無駄にしない、勉強への意欲が感じられました。

OBとの座談会では高校時代の勉強の仕方、部活との両立、苦手科目の克服、大学での勉強時間、今の生活、今後の目標など様々な角度から生徒は質問していました。OBも、自分たちがやっておいて良かったこと、失敗した事など一生懸命お話して下さいました。経験したからこそ後輩へ伝えられる事がある、その気持ちは十分伝わりました。絶対合格する！という強い気持ちで受験を乗り越える事が出来れば、自信に繋がり成長していくのだとOBを見て思いました。「大学合格がゴールではない」と教えてもらいました。だから大学での勉強は将来に向けての大切な時間となるので、大学選びも重要となります。今回参加した生徒たちも、実際に大学を見て色々な方の話を聞いて得る物は大きかったと思います。大学の名前に委縮し参加することを迷うのかもしれませんが、オープンキャンパスでOBから直接アドバイスをもらえる折角の機会です。一つの出会いが良いきっかけを与えてくれる事もあります。そういうチャンスを見逃して欲しくないと思いました。今回参加した生徒たちが他の生徒へ良い刺激を与えてくれたら来年はまた参加者が増えるかもしれません。そう願っています。朝早い出発の為長い1日で皆疲れていましたが、最後は家族へのお土産と笑顔を持って帰りました。



(PTA 吉岡・長松)